

きゅうしょくだより

令和8(2026)年
大阪市立木川南小学校
1月号

ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん 全国学校給食週間にについて知ろう

「全国学校給食週間」は、戦争などによって中断されていた給食が再び始まったことを記念して定められました。現在の給食は、ごはんやパンに魚、肉、豊富な野菜、牛乳、そしてくだものがつくなど、栄養バランスのよい食事です。

今月は、給食の歴史を知り、生きものの命をいただくことや給食に関わる人たちのことなど、毎日食べている給食について考えてみましょう。

がっこうきゅうしょく れきし 学校給食の歴史

明治22(1889)年

山形県で昼ごはんを持って来られない子どもたちのために昼ごはんを出したことが、学校給食の始まりといわれています。その後、日本中に広がりました。



昭和21(1946)年12月24日

[学校給食感謝の日]
戦後、アメリカから寄贈された脱脂粉乳や小麦粉を使った給食が提供されました。



昭和16(1941)年ごろ~

戦争が始まると、次第に食べものが不足し、給食を中断しないといけなくなりました。

現在の給食

小学生や中学生の健康を守り、成長するために必要な栄養素をバランスよくとることができます。
給食を通して、食について学ぶよい機会となっています。



1月のこんだてより

大切に食べよ



～おせち料理にこめられた願い～

正月には、「今年も健康で幸せに過ごせますように」と願って食べる料理がたくさんあります。

1月13日(火)ごまめ

「田作り」とも呼ばれて、米や食物の豊作を願います。



1月27日(火)紅白なます

だいこんの白色とにんじんの赤色で、水引を意味して、



新年を祝うめでたさを表します。

黒豆の煮もの



「まめまめしく(はじめによく)働けますように」と願います。



1月29日(木)くりきんとん

「今年も豊かな生活が送れますように」と願います。

給食に登場する今が旬の野菜

★みずな★

1月20日(火)みずなの煮びたし

昔から京都府で栽培されていた京野菜です。寒さが厳しくなる秋の終わりから冬にかけて旬(たくさん)とれて、おいしい時期)をむかえ、京都府では「みずなが店に出るようになると、冬本番」といわれています。

